

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	音楽B		
英文授業科目名	Music B		
開講年度	2006年度	開講年次	1、2年次
開講学期	2、4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	長岡 英		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
mnagaoka@za3.so-net.ne.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>西洋音楽史--クラシック名曲を通して--</p> <p>西洋音楽は私たち日本人の生活の中に溶け込んでいて、テレビ・コマーシャルや携帯電話の着メロなどに、さまざまなクラシックが使われている。音楽A、Bの授業では、耳にする機会が多い有名な曲を毎回1曲ずつ取り上げ、作曲家やその音楽を文化的・社会的コンテキストの中に位置づけることにより、西洋音楽史を概観する。今年度は前期に古典派とロマン派前半の音楽を、後期はロマン派後半、20世紀、及び中世・ルネサンス、バロック音楽をこの順序で扱う。</p> <p>音楽の本来の姿は「鳴り響き」である。したがって試験は、授業で取り上げた曲のいくつかを聞いて、作曲家名、題名などを同定したうえでその曲に関して論述する、リスニング問題を中心にする。西洋クラシック音楽に関する、大学生としての教養・常識を身につけることが目標である。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>原則として、音楽Aを履修した者が音楽Bを履修できる。</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>世界史と音楽の基礎知識があることが望まれる。</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【教科書等】

教科書：久保田 慶一、ほか「はじめての音楽史」音楽之友社

【授業内容とその進め方】

音楽B 取り上げる予定の音楽

- 第1回 チャイコフスキー 「白鳥の湖」
- 第2回 スメタナ 「モルダウ」
- 第3回 ドヴォルザーク 交響曲第9番「新世界より」
- 第4回 グリーク ピアノ協奏曲
- 第5回 ムソルグスキー 「展覧会の絵」
- 第6回 ラヴェル 「ボレロ」
- 第7回 ストラヴィンスキー 「春の祭典」
- 第8回 ガーシュイン 「ラブソディー・イン・ブルー」
- 第9回 ショスタコーヴィチ 交響曲第5番
- 第10回 グレゴリオ聖歌
- 第11回 マショー 「ノートルダム・ミサ曲」
- 第12回 ヘンデル 「メサイア」
- 第13回 ヴィヴァルディ 「四季」
- 第14回 バッハ カンタータ第147番
- 第15回 バッハ トッカータとフーガニ短調
- 第16回 予備日

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

2 / 3 以上出席して学期末試験を受けることが採点の対象となる条件。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないので、電子メールで連絡してください。

【学生へのメッセージ】

毎時間、受け身で音楽を聞き流すのではなく、音楽自体も覚えようとする積極的な態度が必要である。

【その他】